

# 多賀城ロータリークラブの特色と 衛星クラブ創設の経緯



Rotary



多賀城ロータリークラブ  
会長 芦澤 卓也

# 多賀城ロータリークラブの現状と課題

- 会員数20名
- 会員減による財政難
- 会員の高齢化
- 会員増強に苦慮
- つまりクラブに魅力がない
- 国際奉仕に苦戦



多賀城ロータリークラブ  
会長 芦澤 卓也

# 国際奉仕という問題

- 国際奉仕活動に苦戦
- 一地方の小規模なクラブに立ちはだかる障壁
- ジレンマ



多賀城ロータリークラブ  
会長 芦澤 卓也

# 加藤ガバナーエレクトの提案

- 2011年の東日本大震災で、多賀城市は津波により甚大な被害を受けた。復興には国内外から大きな支援をいただいた。その経験を原点に、「復興した多賀城から、今度は復興を必要とする地域へ貢献したい」という強い思い。
- 国際共同委員会を設立して、まずはウクライナを支援する
- スポンサークラブに財政的負担はからない



多賀城ロータリークラブ  
会長 芦澤 卓也

# 衛星クラブ設立についての検討

- 衛星クラブ設立検討委員会



# 衛星クラブ設立の危機

- 責任の重さ
- 未経験の領域へ挑戦することへの不安と理解不足
- 多賀城RCの財政難などを理由に設立への反対論が優勢となる
- 衛星クラブ設立の危機



多賀城ロータリークラブ  
会長 芦澤 卓也

# 衛星クラブ設立についての考察①

- ①衛星クラブ設立は多賀城RCにとって良いことか
- ②衛星クラブは本当に必要とされているか
- ③衛星クラブのスポンサーになることはクラブの身の丈に合った持続可能なものか



多賀城ロータリークラブ  
会長 芦澤 卓也

## 衛星クラブ設立についての考察②

- ・デメリットがあるとすれば、重い責任を負うこと
- ・多賀城ロータリークラブが世界平和に貢献できる  
またとないチャンスを逃してはならない！
- ・こんなチャンスは2度と訪れない！



多賀城ロータリークラブ  
会長 芦澤 卓也

# 理事会の説得

- 理事一人一人とクラブの今後について誠実に話し合い
- あらゆる事態を想定
- 次年度会長としての覚悟
- 理事会で衛星クラブ設立が承認可決

